

修学旅行で、2月25日  
から5日間の日程で本県  
を訪れた文京学院大女子  
高(東京都文京区)2年  
生58人が、旅行先で出会  
った働く人のポスターを  
写真とキヤッチコピーで  
作るプロジェクト「ポス  
タビ」に挑戦した。

JTB法人東京、慶応  
大加藤文俊研究室、ホー  
ムページ制作会社「トッ  
プアスリート」が共同で、  
教育効果と地域貢献が得  
られる修学旅行プログラ  
ムの開発に取り組み、試  
行として実施した。高校  
生が働く大人の話を聞い  
たり、仲間で知恵を出し  
合うなどしてコミュニケ  
ーション能力を高めたな  
がら、旅行の記録とするの  
が目的。長崎市内のレス  
トランや販売店など15カ  
所の協力を受けた。

このうち坂田恭子さん  
(17)ら4人は28日、長崎  
市築町のからすみ店「小  
野原本店」を訪れ、小  
野原善一郎店長(32)に仕  
事内容などをインタビュ  
ー。ポスター案は、小野

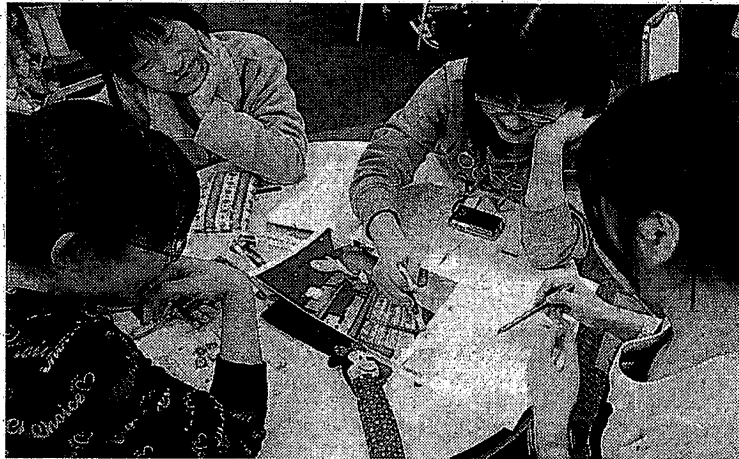
## 本県の「働く人」をポスターに

### 東京の修学旅行生 「ポスタビ」に挑戦

原店長が腕組みをして売  
り場に立つ写真に、キヤ  
ッチコピーの「Q・あな  
たにとってからすみとは  
?」「A・自己表現の場」  
を組み合わせた。

完成したポスター(A  
1判)は3月中旬、同校  
が協力店に贈る予定。

(永野孝)



撮影した写真を囲みながら、ポスターのデザインを話し合う生徒  
↑長崎市南山手町、長崎舎白室ホテルのバーヒル